

## 第18回熊本駅周辺地域まちづくり推進協議会の質疑応答について

日時：令和3年（2021年）4月22日（木）15:00～16:30

場所：くまもと森都心プラザ 6階 A・B会議室

### 質問、意見等一覧

意見 1) 岸井会長〔本協議会の振り返りと今後について〕

質問 1) 合志委員〔白川口駅前広場の利用について〕

意見 2) 山内委員〔これまでの駅周辺地域について〕

意見 3) 石橋委員〔駅周辺地域の今後について〕

意見 4) 小川委員〔これまでの取り組みについて〕

意見 5) 井芹委員〔これまでの本協議会の取り組みについて〕

## 質疑応答

意見 1) 岸井会長〔本協議会の振り返りと今後について〕

本協議会が始まって 17 年、基盤整備は 20 年程度と、長い期間協力して取り組んでまいりました。これからは、この空間をどのように活用していくのが重要なポイントと思われます。ぜひ、使いこなしていただいて、いい街をさらに発展していただきたいと思います。

質問 1) 合志委員〔白川口駅前広場の利用について〕

白川口駅前広場の利用について、地元の団体等がイベント等で使う場合の許認可や料金についてお尋ねしたい。

➤ 答) 熊本市市街地整備課 平田

JR の用地である A・B・C については、内容や頻度にもよるが、基本的に官公庁、地元自治協議会の主催であれば、使用料については免除となります。D についても、道路占用の許可が必要なエリアですが、まちづくり実行委員会や公共性の高いものであれば利用は可能となりますので、ご相談の上、使っていただきたいと思っています。

意見 2) 山内委員〔これまでの駅周辺地域について〕

明治時代より春日地区は駅周辺として繁栄してきており、大幅に変わってきたことを認識しています。アクセスのしやすさなど、利便性が高まったことは大変喜ばしいことでもあり、大変感謝しています。

意見 3) 石橋委員〔駅周辺地域の今後について〕

春日地区は、駅周辺と万日山等の自然を有しており、グリーンベルトも活かしていけたらと思います。西口については、観光者へ対して自然を感じさせることができ、今後、地域の発展と自然の連動性を望みます。

意見 4) 小川委員〔これまでの取り組みについて〕

県としては在来線の高架化や街路事業の基盤整備について取り組んでまいりました。交通の結節の機能向上が図られ、すばらしい陸の玄関口となったのではないかと思います。移動の利便性の向上も大切ではあるが、駅周辺の地域住民の方と一緒に進めてきたことが重要であると思います。県としても県内各地に波及するよう取り組んでいきたいと思っています。

意見 5) 井芹委員〔これまでの本協議会の取り組みについて〕

本協議会は平成 16 年の発足より、熊本駅周辺地域整備基本計画を基にご尽力いただきました。国・県・市と共に多くの関係機関が長期にわたり取り組んできた事業であり、大変感謝申し上げます。今後も、地域の皆様などと協力しながら魅力の向上に努めていきたいと思っています。